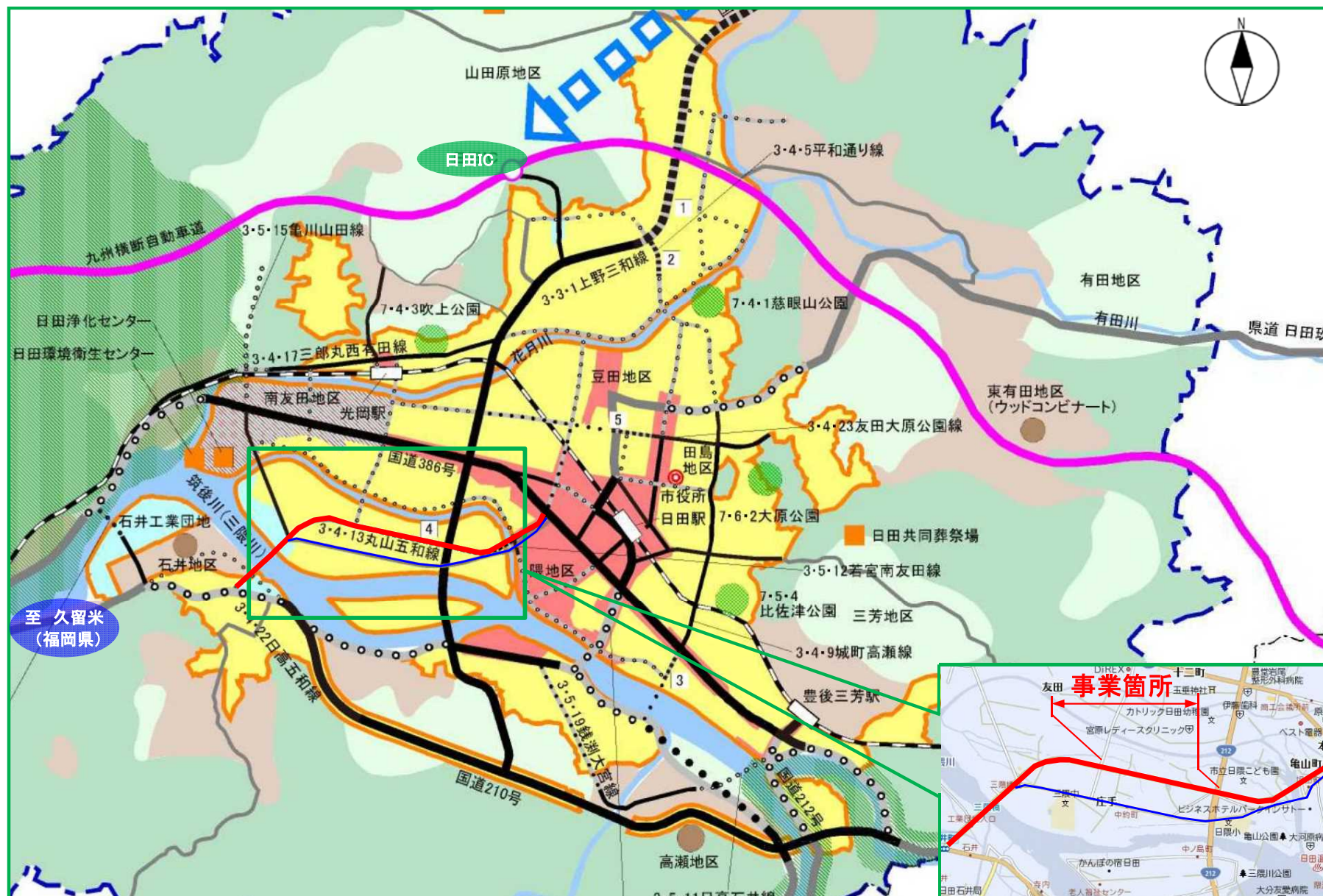


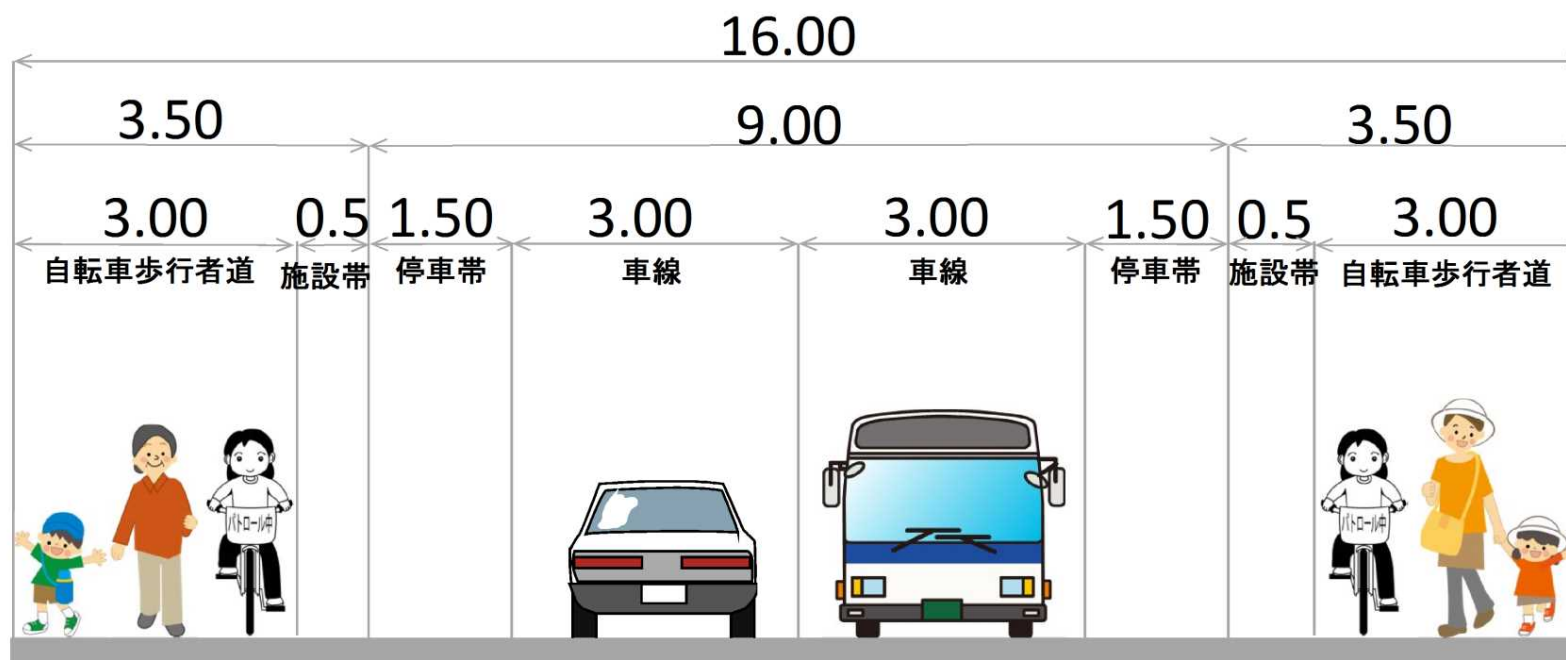
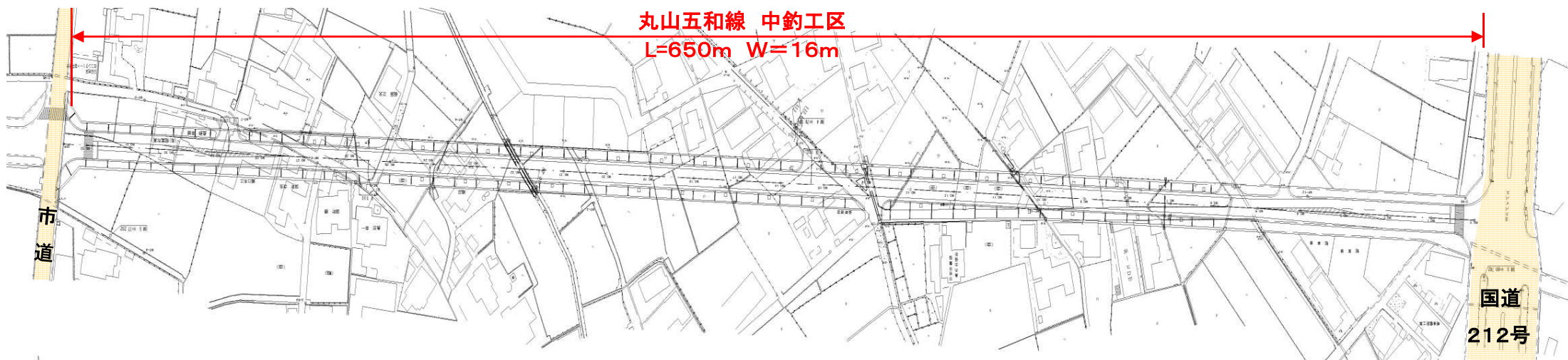
第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな 応募者名		おおいたけん とし・まちづくりすいしんか 大分県 都市・まちづくり推進課	
街路事業	ふりがな 事業の名称	ひたとしけいかくじぎょう まるやまごわせん なかつるこうく 日田都市計画事業 3・4・13 丸山五和線(中釣工区)	
	ふりがな 事業主体	おおいたけん ひたどぼくじむしよ 大分県 日田土木事務所	
	ふりがな 実施都市名	おおいたけん ひたし 大分県 日田市	
事業概要 (400字以内)		本路線は、日田市の南西部と中心部を結ぶ主要幹線道路であり、日田市内の交通ネットワークとして必要不可欠な路線である。 現道の県道石井庄手線は、沿線に人家が連なり、また歩道が整備されていない箇所があるため、通行に危険な状況となっており、歩行者の安全確保が求められていた。今回のバイパス区間の整備により、通学路の交通安全プログラムに基づき公表された危険箇所に歩道を設置することで、歩行者の安全確保を図る。 また、今回の整備により、国道210号から386号までの全線(L=2, 484m)が開通することで、市南西部はもとより福岡方面から日田駅を中心とする日田市中心市街地が直接結ばれることとなり、公共交通の利便性向上や都市活動の活発化を促すことが期待されるとともに、災害時には、緊急輸送道路(国道)の代替路線となることから、防災性の向上も期待される。	
事業規模		○事業延長:L=0.7km ○事業費:C=8.7億円 ○幅員:W=16m ○事業期間:平成21年度 ~ 28年度	
事業の目的		・安全、安心な歩行空間の形成 ・緊急輸送道路(国道210号・212号・386号)の代替路線の確保 ・日田駅を中心とする市街地へのアクセス改善	
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		・歩道設置により地域住民の歩行時の安全が確保(線形不良箇所や幅員狭小区間の改善) ・高次医療施設へのアクセス時間の短縮、防災性の向上 ・利便性が向上(日田市中心市街地等へのアクセス)	
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	『丸山五和線中釣工区工事推進協議会』が発足し、事業に対する協力体制が整っていた。	

事業位置図



全体図(平面図・横断図・縦断図)



事業前写真

事業前写真1



事業前写真2



事業前写真3



事業後写真

事業後写真1



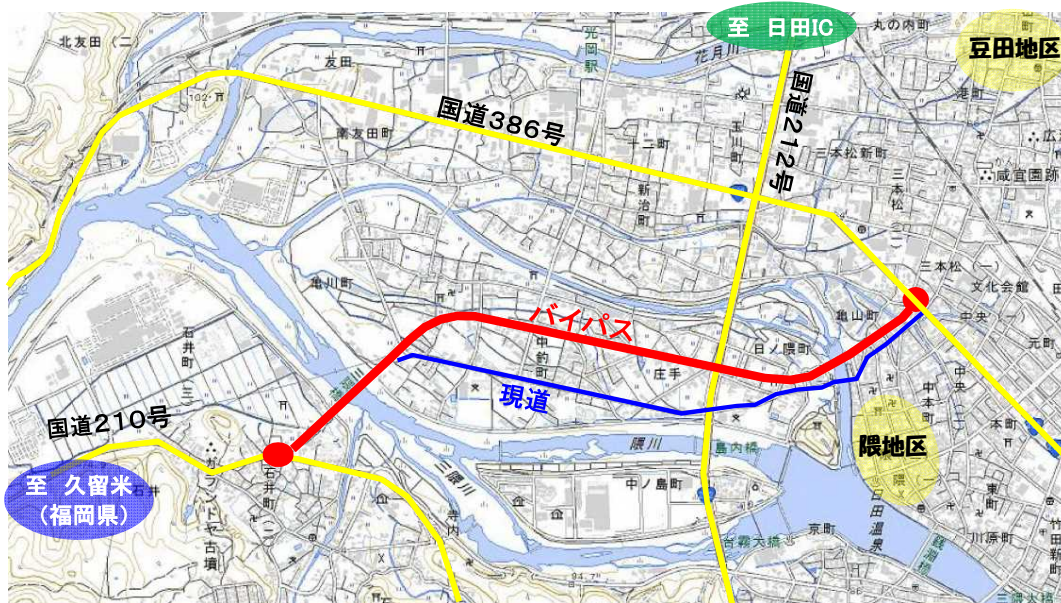
事業後写真2



事業後写真3



丸山五和線の事業効果アピール資料



「事業効果」

- ◆歩行者などの安全確保
→歩道設置により地域住民の歩行時の安全が確保された。
- ◆防災力の向上
→災害時の緊急輸送道路(国道210号・212号・386号)の代替路線として期待され、広域的な救援ルートが確保できた。
- ◆利便性の向上
→歴史的街並みが残る豆田・隈地区や日田市中心街へのアクセスが向上し、また、福岡県方面へのアクセスも向上した。

「事業効果写真」

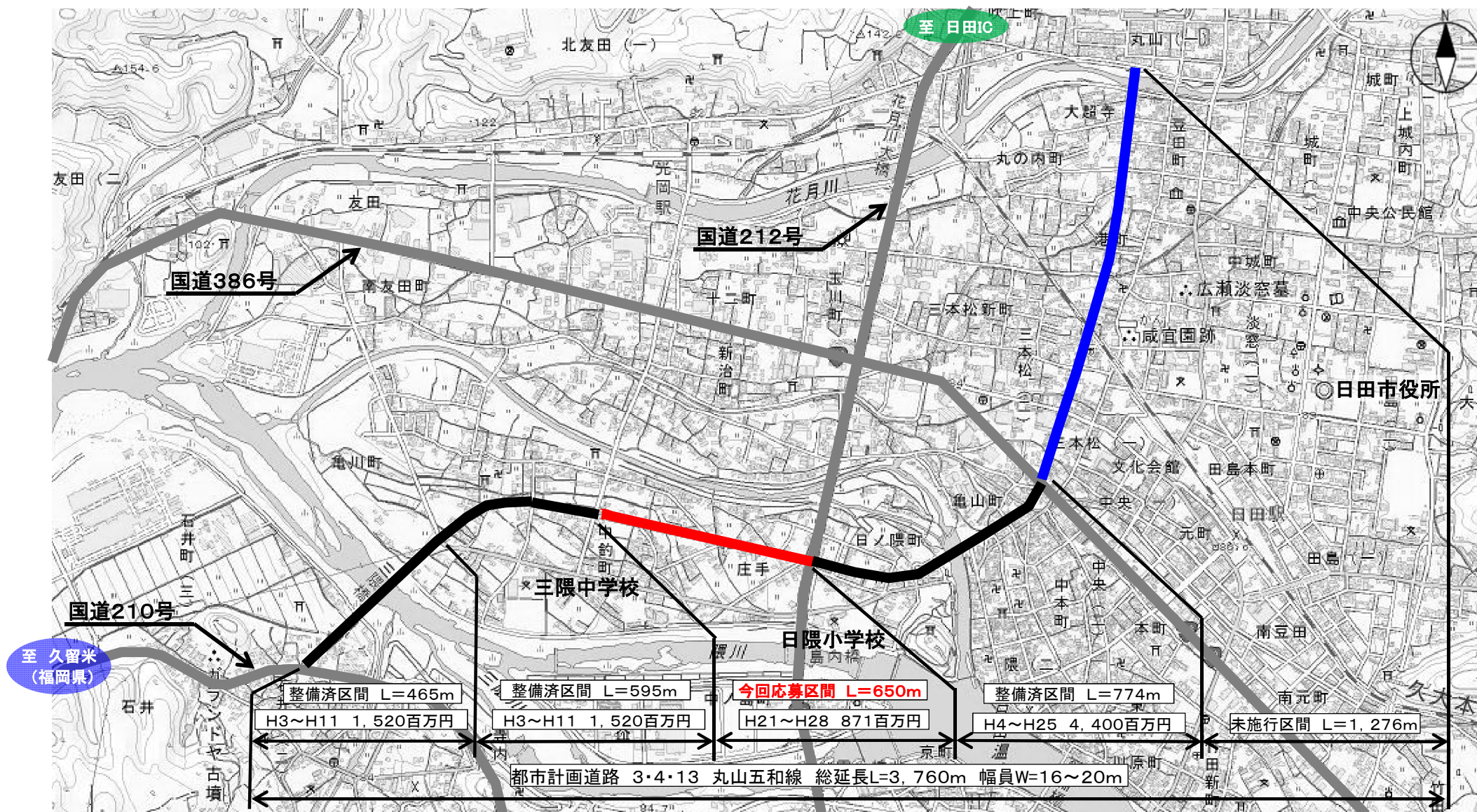


現道の状況



バイパス開通後の状況

路線全体の進捗状況



都市計画図

